

普及活動情勢報告（令和5年4月分）

中央西農業振興センター高吾農業改良普及所

夏秋高糖度トマト定植開始～巡回指導を実施～



個別指導の様子

3月5日から4月20日にかけて仁淀川町で、夏秋高糖度トマト（4戸）の定植が行われました。
普及所は個別巡回を通じて生育状況を確認し、かん水管理や追肥について指導を行いました。
生産者から「かん水量は適切なのか」、「花が咲き始めたが、追肥を始めた方がよいか」といった質問があり、生産者と生育を見ながら対応内容を確認しました。
普及所は、今後も個別巡回等により、夏秋高糖度トマトの生産安定を図っていきます。

ニラの収量・品質向上に向けて～月例会の開催～



ニラ月例会の様子

4月7日、J A高知県コスモスニラ生産部会が永野集出荷場で月例会を開催し、8名の生産者が出席しました。
現在、一部の部会農家は場でネダニの発生が見られたことから、普及所はネダニの防除対策について講習を行いました。
また、ハウスニラの植え替え時期に合わせて、土壌消毒の方法について説明しました。
生産者から「土壌消毒の処理期間は何日が適切か」といった質問があり、具体的な処理方法を確認しました。
普及所は、今後もJ Aと連携してニラの収量品質の向上を支援していきます。

サンショウの収量を予測～越知町で開花調査を実施～



開花調査の様子

4月10日、普及所は越知町のサンショウ農家7戸に対して、開花状況を調査しました。
開花状況の調査は収穫量の予測と、草勢の調査を兼ねて毎年行っています。今年は事前調査で開花が早い予想であったことから例年より10日早く実施しました。
今年は裏年に当たり、調査した1枝あたりの平均開花数は昨年よりやや少ないものの一房あたりの平均開花数は多い傾向となりました。
普及所は、開花状況の調査結果を生産者等と共有するなど今後もサンショウの生産の安定化を図っていきます。